

～ドイツの取組から学ぶ～ アートを通じた「外国人の看護人材の確保」と 「異文化共生による地域への定着」

人口減少が進展する地方においては、看護職、介護職などのケア人材の確保は大きな課題となっており、今後ますます深刻化する問題です。

看護や介護分野の人材確保をどうするのか。同じ課題を抱えるドイツではどのようなことが取り組まれようとしているのか。その際、アートはどのような貢献をなすことができるのか。ドイツの取組から、当地域における看護・介護人材の確保・育成について考えましょう。

開催概要

[日程] ▶▶ 2024年10月28日(月)

[時間] ▶▶ 午後2時～3時30分

*受付:午後1時30分から開始

[会場] ▶▶ 養父市老人福祉センター2F集会室

○講演(1時間:逐次通訳あり)

● 講師 ●

ザクセン文化基盤研究所
マティアス・フォークト教授

講師プロフィール

ドイツのザクセン州立ツィッタウ＝ゲルリッツ大学に「文化とマネジメント学科」を創設し、ドイツにおける文化政策・アートマネジメント研究・教育をリード。大学の関連機関としてザクセン文化基盤研究所を設立し、所長を務める。
(一財)医療文化経済グローバル研究所アドバイザー

● テーマ ●

看護学における異文化間ボランティアイヤー
～労働移民への文化を取り入れた看護職業研修に向けて～

○質疑応答・意見交換(30分)

参加者質疑応答、MCE研究所メンバーも含めた意見交換

◆ 10月23日までに申込フォーム(QRコード)または
下記にお電話・メールでお申し込みください。

申込フォーム



URL: <https://forms.gle/KaecZ6EfmhcHDw3s5>

申込・問い合わせ

養父市健康福祉部社会的処方推進課

TEL:079-662-6141 メール: shakaitekishoho@city.yabu.lg.jp